

東日本大震災・連盟災害対策本部ニューズレター

= 祈りの絆 =

1月17日現在までの震災に関するニュースです。連盟の災害対策に関する情報は、連盟ホームページをご覧ください。

<http://www.bapren.jp/>

あの震災以来、被災地を覚えて、全国の諸教会・伝道所の皆様が祈りを寄せてくださってきていることを深く感謝いたします。このたび昨年12月1日付で、金子千嘉世氏（宮崎丸山町教会牧師）に、災害対策本部「現地支援担当」として立っていただくことになりました（任期：2011年12月1日より2013年3月末）。これまで災害対策本部では「特任主事」（フルタイム・スタッフ）の擁立を模索してきましたが、11月29日の災害対策本部会議においてその方向を断念し、金子氏に、宮崎丸山町教会牧師と連盟副理事長の職はそのままに、災害対策本部委員としての出張扱いで働いていただくことになったものです。



金子千嘉世 現地支援担当

●「現地支援担当」の働きは次の通りです。

- ①被災地教会支援…被災地にある教会の声を丁寧に聴き、サポートする。
- ②被災地教会活動支援…現地支援委員会に陪席し、諸教会の支援活動をサポートする。
- ③遠野ボランティアセンター…佐藤浩スタッフをサポートする。

郡山に事務所（兼住居）の一部屋を借り、1カ月のうち3週間を宮崎丸山町教会から派遣いただいて活動することになります。どうか引き続き篤いお祈りをもって、被災地にある教会と連盟の支援活動をお支えくださいますようお願いいたします。（副本部長：加藤 誠）

◎ご挨拶

12月1日より災害対策本部・現地支援担当の務めをいただき、遠野ボランティアセンターや被災地にある教会を通して、様々な課題、苦闘、そして、喜びを分けていただいています。また、遠野ボランティアセンター運営委員会、現地支援委員会をはじめ、震災に関する諸会議に出席させていただき、様々な角度から、東日本大震災における各地の現状、課題を考える機会が与えられています。被災地の方々や現地の教会に寄り添い、各方面を繋ぎつつ、よりよく働くことができるようにお祈りください。

1. 遠野ボランティアセンター

これまでの活動報告

12月21日、大槌町小槌の第4仮設住宅でクリスマス会を行いました。ここは、全国からボランティアに来てくださった100人以上の方が繋がってくださった所です。当初の予定では宣教師からいただいたクリスマスブーツにお菓子やミカンを詰めてみなさんにお配りし、ビンゴ大会をする予定で、景品にする野菜をたくさん買い込み、佐藤スタッフたちと第4仮設住宅に出かけました。ここは集会場がなかったのですが、私たちボランティアをむかえるために仮設の方々が行政にかけあってくださり、ログハウスのような集会場ができており、なんだか胸がいっぱい



◎遠野ボランティアセンター

いになりながら集会場に入っていく感じが、すると何人かの方がたから「キリスト教の話をしてほしい」とリクエストがあり、躊躇している中「牧師さんがキリスト教にキリスト教の話しないで、何話すべから」と言われ、お言葉に甘え、ヨハネ福音書から津波で家族も家も失ったその悲しみ、心の傷、ぬぐいきれない孤独や不安という人の知恵や努力では消すことのできない闇をイエスさまは照らしだし、希望へとつなげてくださることをお話させていただきました。仮設の方々もボランティアの私たちも涙、涙のクリスマスでした。全国諸教会・伝道所の皆様と、2011年8月から12月までに来てくださった100人を超えるボランティアの方々の祈りと涙と汗でつないできたこの9ヶ月間。その積み重ねとイエスさまの御愛の結晶のようなクリスマス会でした。お祈りとお支えを本当にありがとうございます。



◎大槌町小槌第4仮設住宅でのクリスマス会

2. これからの活動の展開

- ①東日本大震災から1年目にあたる今年の3月11日は、主日礼拝の日です。ぜひ諸教会・伝道所におきまして、礼拝の中でぜひ祈りの時をお持ちください。
- ②津波被害にあわれた方がたは、今

までの沿岸部の生活から山間の仮設住宅の生活で、今までにない寒い冬を迎えておられます。この冬をなんとかのりきるために、個別訪問や集会場をお借りしてカフェなどにお招きし、交わりの時を作って仮設の方々を過ごしていきます。



◎2012年1月11日連盟事務所での祈禱会

3. 募金の使い道

全国諸教会・伝道所、世界の各地から捧げられる募金を心より感謝いたします。現在、捧げられている募金は主に、被災地にある仮設住宅支援のための物資購入、地震被害と原発事故被害の建物修理、連盟保有の車両冬タイヤ交換などに用いられております。また、今後はそこで展開し始めている自立活動におかた（編み物サークル、子育てサークル等）の支援にも使わせていただきます。支援は始まったばかりです。ぜひ、今後よろしくお祈りいたします。

下記の祈りの課題をぜひ、継続してお祈りください。皆さまの祈りは東北の被災地支援活動の原動力です。よろしくお祈りいたします。

（災害対策本部 現地支援担当 金子 千嘉世）

●●祈りの課題●●

- ①被災地の方々の健康が支えられ、復興に向かう気力と体力が備えられるように。
- ②被災地にある教会の働きが守られ、支援活動が、教会の業となっていくように。
- ③一日も早く、原発事故が収束するように。
- ④今も被災中の福島地区の子どもたちや、そこに住んでおられる方がたが守られるように。
- ⑤遠野ボランティアセンターが、主に用いられるように。

【東日本大震災緊急救援募金のお願い】 12月31日現在 募金総額143,735,520円 内、海外から68,400,386円が寄せられています

送金先：郵便振替 00140-9-180881 「宗教法人日本バプテスト連盟総務部」

※「東日本大震災募金」と明記してください（「東北地方太平洋沖地震募金」「東北関東大震災」でも結構です）。

※募金は極力、教会単位でご送金ください。海外からの募金は別口座になります。総務部までお問い合わせください。

2011年度募金の目標総額は1億3000万円です。使途の目安は①被災教会・教会員へのお見舞い／教会建物支援（30%）、②被災地支援（50%）、③現地スタッフ／ボランティア活動費／事務局費（20%）として用いられます。すでに目標額に達していますが、2013年度までの3年間で1億7000万円の募金目標総額が今年の定期総会で決まりました。4月以降もぜひ、本募金のためにご協力ください。